

研究タイトル：

『とりかへばや』を中心とした平安鎌倉期における物語文学の研究



氏名：	片山 ふゆき/KATAYAMA Fuyuki	E-mail：	fuyukata@tomakomai-ct.ac.jp
職名：	准教授	学位：	博士(文学)(北海道大学)
所属学会・協会：	中古文学会, 中世文学会, 日本文学協会, 北海道大学国語国文学会		
キーワード：	古典文学, 享受, ジェンダー, 言説, パロディ, 翻訳		

技術相談
提供可能技術： 日本古典文学, ジェンダーについて

研究内容： 『とりかへばや』を中心とした平安鎌倉期における物語文学の研究

現存『とりかへばや』を中心に、平安時代から鎌倉時代にかけて成立した王朝文学の研究をしています。

『源氏物語』, および, それに続く平安後期物語が志向する王朝物語, さらにには王朝文化像と, 時代も下った現存『とりかへばや』以降の物語が志向するそれとは, 異質なものとして捉える視点で, 中世王朝物語作品に見られる王朝文化像の変遷を明らかにしようとしています。そして, こうした王朝物語および文化の変質の過程の実相を詳らかにした上で, そこから, 王朝文学をめぐる時代的言説を捉えようとしています。

また, 海外における王朝文学の翻訳の問題も扱っています。男装・女装のテーマを持つ『とりかへばや』の翻訳本を中心に, 翻訳作品における性差およびセクシュアリティの描かれ方を分析し, その根底に流れるジェンダー観の文化差とその背景を明らかにしようとしています。

主要論文：

- ・片山ふゆき, 「袖の中の魂—『とりかへばや』垣間見場面に見られる『古今集』九九二番歌引用について—」, 「国語国文研究」149号, 2016年10月, 14-28p
- ・片山ふゆき, 「引歌が引き寄せる物語 :—『とりかへばや』巻二を読む—」, 「日本文学」65(8), 2016年8月, 78-81p
- ・片山ふゆき, 「『とりかへばや』の宰相中将の恋」, 『狭衣物語 〈文〉の空間』, 翰林書房, 2014年5月, 380-400p
- ・片山ふゆき, 「『とりかへばや』の引歌表現に見られる諧謔性—宰相中将における変奏をめぐる—」, 「国語と国文学」89(10), 2012年10月, 17-32p
- ・片山ふゆき, 「『とりかへばや』「心の闇」考」, 「国語国文研究」141号, 2012年2月, 32-45p
- ・片山ふゆき, 「『今とりかへばや』の恋する帝をめぐる一考察」, 「国語国文研究」139号, 2011年3月, 18-31p
- ・片山ふゆき, 「『今とりかへばや』「志賀の浦」試論—宰相中将の恋をめぐるアイロニー—」, 「国語国文研究」135号, 2009年3月, 1-16p

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)	